

さいたま市立東岩槻小学校 学校だより 1月号



すわっ子だより

学校教育目標 ともに伸びる子
かしこく ゆたかに たくましく
令和5年1月9日(火)
第11号 発行責任者 渋谷 恵子
在籍児童数146名
<http://higashiwatsuki-e.saitama-city.ed.jp>

心を一つに

校長 渋谷 恵子

2024年が始まりました。今年は、甲辰（きのえ・たつ）。甲は、物事のはじまりを象徴し草木が成長し勢いを増す様を表し、辰は、万物が成長し動きが盛んになる様子を象徴するとされることから、甲辰は、上昇し勢いを増しながらぐんぐんと成長していく年となるといういわれがあるそうです。

さて、話は少し戻りますが12月20日（水）、音楽朝会がありました。本校では毎月音楽朝会を行っており、これまでの音楽朝会は、代表学年の児童が今月の歌について工夫した点やポイントとなるところを紹介し、お手本として歌を披露してきました。12月の音楽朝会の曲は、「喜びの歌」。先生の伴奏に合わせて、1、2年生の鍵盤ハーモニカ、3、4、5、6年生のリコーダーによる全校合奏です。すわっ子楽団の演奏はどうだったかということ、まるでコンサート会場にいるような、迫力ある演奏でした。そう感じるくらい全員が集中して、真剣に鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏している姿がありました。学年ごとに担当したパートの演奏がしっかりできていましたので、音の重なりもきれいで、音がずれることもなく体育館中に響いていました。児童たちは、音楽の時間を中心に努力してできるようになった鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏する力を基に、この日までに約1カ月の間、一人ひとりが毎日朝の会などで練習を重ねてきました。苦手な児童もいたと思いますが、頑張り続けた結果できるようになりました。練習するって大事です。体育館にいた全ての人が心を一つにした素敵な時間となりました。児童の皆さん、素晴らしい演奏を聴かせてくれて、ありがとうございました。

今年は、令和6年能登半島地震の発生等、心穏やかではない事態から始まり、その大変な苦しみは続いております。亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。また被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。私たちには、関係の皆様と心を一つに、被災地から発信されるメッセージを自分事として受け止め、できることは何かを考え行動に移していくことが求められています。このことは、児童の皆さんと一緒に考えていきたいです。

本年も引き続き、児童、教職員、保護者・地域の皆様の心を一つにして、教育活動を推進してまいりたいと考えております。

皆様方の変わらぬご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。